



須江小だより

No.9

令和6年12月2日発行

実りの秋

校長 佐々木 淳

代官山のイチョウの葉も鮮やかな黄色に色づき、学校全体が実りの秋を迎えています。子どもたちは、これまでも友達や先生、地域の方々と関わり合いながら学びを深めてきましたが、実りの秋を迎え、先月はどの学年も一層豊かな関わり合いがありました。

1・2年生は一緒に生活科で育てたサツマイモの収穫をしました。初めて教える立場になった2年生はやや緊張気味でしたが、仲良く一緒に力を合わせて力いっぱい掘っていました。職場体験で須江小に来ていた河南東中学校の生徒さんも子どもたちと一緒に掘ってく



れました。4年生は、石巻支援学校の子どもたちを須江小に迎えて交流し、ホスト役として会の内容を考えたりゲームの準備をしたりしました。

地域の方との交流も深まりました。4年生は、地域のお茶飲みサロンの方々と交流しました。一緒にボッチャをしたりして楽しく過ごし、貴重な体験をすることができました。3年生は、たてファーム和（なごみ）様の協力をいただいて、学校近くの大豆畑を見学しました。大きなコンバインの威力に目を丸くしていた子どもたち。目を細めて見守



大きなコンバインにびっくり！

る地域の方々の優しさも、感じ取っていたことと思います。5年生は、自治協議会様に教えていただいて、須江地区に残る歴史について学びました。地名には様々な由来があることなど、ふるさとへの思いを深めたことと思います。また、須恵器の歴史について発掘時の資料を通して学び、土器を作っていた奈良時代や平安時代の人々に思いを馳せました。

6年生は小中連携の取組として中学校の先生に授業をしていただきました。1組は理科、2組は数学。中学校ならではの専門性の高い授業に子どもたちは夢中になって取り組みました。一足早い中学校の雰囲気を感じている様子でした。

11月16日の土曜日には、家族と一緒にポイントを巡りながら、ゴールの須江小学校を目指す「PTA わくわく須江小ウォークラリー」がありました。さわやかな秋空の下、大好きな家族と関わり合いながら楽しく過ごす笑顔があふれていました。

子どもたちは、この秋もたくさんの人と関わり合いながらすくすく成長しています。

交通安全クイズ ○○を歩く ○○○を見る ○○○をする（答えは裏面）